

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
<b>国語</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物やキーワードを整理することで、おおまかなあらすじを捉えたり文章のつながりを理解できたりするようにする。</li> <li>学習の中で感想や自分の考えを書く活動を通して、書く力を付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物になりきって気持ちを想像して書くことや、説明文に対して自分の考えを日常生活と結び付けて書く活動を重ね、記述する力を身に付けさせる。</li> <li>読書活動や日記を継続して行い文章力を付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>はじめ、中、終わり等のまとまりや場面の移り変わり、気持ちの変化を意識しながら読み、自分の意見や考えを適切に文章に表現する力を付けさせる。</li> <li>書いたものを交流させることで、文章力をさらに伸ばしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文学的教材では、自分の感想や考えを書いて交流することで、読み取る力だけではなく、書いて説明する力を身に付けさせる。</li> <li>新出漢字の練習でも短文づくりを継続して行い、文章力につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物語文や説明文の学習では、互いの考えを伝え合うだけでなく、異なる考えに至った経緯を理解し合うことで、互いの立場を明確にできるようにする。</li> <li>文章中の中心となる語や文をキーワードとして活用し、要約する力を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キーワードや文章の構成をもとに、筆者の考えを理解し、筆者の立場や考えを児童一人一人が捉えられるようにする。</li> <li>物語や説明文の学習では、友達との交流を通して自分の考えをより明確にし、自分の考えを文章で表現する力を身に付けさせる。</li> </ul>
<b>算数</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>具体物（ブロック等）を操作しながら問題に繰り返し取り組むことで、問題場面をイメージする力を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題文を図やテープ図、線分図等に自分で表し、場面を捉える習慣を身に付けさせる。</li> <li>かけ算の学習においては「もとの数」を意識させ、中学年に向けて数量関係の理解を深めさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図や線分図などを活用し、問題文の内容を正しく理解する力を身に付けさせる。</li> <li>図などを活用し、式の意味を考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習中に学んだ大切なことややり方を、日常生活と結び付けて振り返り、文章にまとめることを継続して行うことで、文章に表す力を養う。</li> <li>計算の仕方などの説明をペアで行うなど、日常的に説明する機会を多くもつことで、説明力を伸ばしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章問題から立式する場面では、図や表、言葉など多様な表現ができることを確認しながら式の意味を考えさせ、正確に立式できる力を身に付けさせる。</li> <li>数字の操作だけでなく、身近な事象で説明する力を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題を正確に理解するために、図や表などを活用する。</li> <li>数字上の知識だけでなく、学習を日常生活と結び付けて考えられるよう、児童にとって身近な事象で説明する力を身に付けさせる。</li> </ul>